



山崎中学校だより

令和8年2月2日 2月号号外

町田市立山崎中学校

校長 小平 千佐子

〒195-0074 町田市山崎町1445

TEL 042-793-1021

<https://machida.schoolweb.ne.jp/1320106>

「2月号」の号外です。

紙面に収まり切れなかった内容について、ホームページ上で公開しています！



夢の舞台へ — 鍵山選手から学ぶ「努力の質」 —

副校長 治田 修幸

校庭の空気も一段と冷たくなり、冬本番を迎えました。スポーツ界ではいよいよ、イタリアでミラノ・コルティナダンペツツオ冬季五輪が開幕します。みなさんは、どの競技、どの選手に注目していますか？

今回の五輪、私がみなさんにその姿勢に注目してほしいと願っているのが、フィギュアスケートの鍵山優真（かぎやま ゆうま）選手です。彼が今、どのような壁に立ち向かい、どのように自分を高めようとしているのか。そこには、中学生の皆さんにとっても、大きな目標に挑むためのヒントが詰まっています。

現在、世界のフィギュアスケート界には、一つの巨大な「壁」が立ちはだかっています。アメリカのイリア・マリニン選手です。彼は、人類で初めて「空中4回転半ジャンプ（クワドランプ・アクセル）」を成功させ、「神の領域」とも称される異次元の得点を叩き出します。

同じ時代に、自分より遥かに高い難易度の技を軽々と成功させるライバルがいる。これは、ある人にとっては絶望を感じる状況かもしれません。「あんな天才には勝てるわけがない」と諦めてしまうのが、普通の感覚かもしれません。

しかし、鍵山選手は違いました。彼はマリニン選手の存在を、自分をさらなる高みへと引き上げるための「光」として捉えました。「彼がいるからこそ、自分はもっと進化しなければならない」と、ライバルの存在を自分のエネルギーに変えたのです。

マリニン選手という高い壁に挑む鍵山選手を支えたのは、実は、北京五輪後の絶望的な「怪我」の経験でした。左足首の怪我で氷の上に立つことさえ許されなかつた日々、彼は選手生命を搖るがす大きな試練の中にいました。

鍵山選手が特筆すべきなのは、この「空白の時間」を「深化の時間」に変えたことです。彼は滑れない期間、徹底的に自分の過去の演技を分析し、トップスケーターたちの映像を研究しました。また、氷の上ではできない筋力トレーニングや、体の使い方の見直しに時間を費やしました。「怪我をしたから何もできない」と諦めるのではなく、「怪我をした今だからこそ、これまで気づかなかつた自分の弱点と向き合える」と考えたのです。

怪我から復帰した彼が次に取り組んだのは、さらなる「自己改革」でした。彼はこれまで、お父様である鍵山正和コーチ（元五輪代表）のもとで、世界トップクラスのスケーティング技

術を磨いてきました。しかし、ミラノで頂点を目指すためには、技術だけでなく「芸術性・表現力」が必要だと痛感します。

そこで彼は、イタリア出身で女子のトップ選手として活躍し、現在は指導者のカロリーナ・コストナー氏をチームに招くという決断を下しました。表現力という自分の弱点から逃げず、言葉も文化も違う環境へ飛び込んで、一から自分を磨き直したのです。

怪我という「立ち止まらざるを得ない時間」があったからこそ、彼は「自分にしかできないスケートとは何か」という問いの答えを見つけ出し、より強く、よりしなやかな表現者へと進化したのです。

みなさんの学校生活においても、勉強や部活動で「どうしても勝てない相手」や「到底届かない目標」に直面することがあるでしょう。

そんな時、鍵山選手の姿勢を思い出してください。大切なのは、他人と比べて落ち込むことではなく、「今の自分に必要なものは何か」を考え抜き、自分の武器を磨く「努力の質」です。

○強い相手を「諦める理由」にするのではなく、「自分が成長するための教科書」にできているか。

○失敗や挫折で立ち止まったときに、そこから何を学べるかを探しているか。

ピンチや強大なライバルの出現は、実は「新しい自分に出会うチャンス」です。鍵山選手は、マリニン選手という高い壁があるからこそ、より高く、より美しく舞おうと自分を磨き続けてきました。

いよいよ始まるミラノ・コルティナ五輪。テレビの画面越しに、イタリアの氷上に立つ鍵山選手の姿を見たとき、ぜひ彼の背後にある「ライバルへの敬意」と「怪我を乗り越えた執念」を想像してみてください。

中学生という時期は、他人との違いに悩み、自分を小さく感じてしまうこともあるでしょう。しかし、鍵山選手がそうであるように、あなたにしかない強みが必ずあります。

周りの凄さに圧倒される必要はありません。それをエネルギーに変えて、昨日の自分を一步超えていく。そんな「自分史上最高の滑り」を目指して、この冬、それぞれの目標に向かって力強く踏み出していくましょう。



山崎中の学校ホームページより、人気の記事ランキングを紹介します！

※集計期間:2025/12/24~2026/1/23(今年度アップされた記事対象)

第1位 2学期終業式～今年1年ありがとうございました～

公開日 2025/12/25

<https://machida.schoolweb.ne.jp/1320106/weblog/134080521?tm=20251225123446>



2学期の終業式では、校長先生のお話のあと、
「税の作文・標語」「卓球部」「バドミントン部」の表彰がありました。
表彰されたみなさん、おめでとうございます！



本日、無事に2学期の終業式を迎えました。
行事や学習を通じ、一歩ずつ成長した生徒たちの姿が頼もしい4ヶ月間でした。
保護者・地域の皆様の温かいご支援に、心より感謝申し上げます。
冬休みは健康に留意し、家族との時間を大切にお過ごしください。
1月に元気な笑顔で会えることを楽しみにしています。
どうぞ良いお年をお迎えください。

第2位 冬休みが始まりました

公開日 2025/12/26

<https://machida.schoolweb.ne.jp/1320106/weblog/134082741?tm=20251226120831>

冬休みが始まりました！
今日はソフトテニス部やバスケットボール部で、
他校のみなさんをお招きして練習試合を行っています。
また、卓球部は女子の個人戦で都大会に出場中です。
冬休みは短いですが、
自分の力を伸ばすべく、部活や勉強に頑張っていきましょう！



明日12月27日から1月4日まで、学校閉庁期間となります。
学校へのお問い合わせ等は1月5日以降にお願いいたします。
みなさま、よい年末年始をお過ごしください。

第3位 和太鼓演奏会

公開日 2025/12/24

<https://machida.schoolweb.ne.jp/1320106/weblog/134078810?tm=20251224182555>

昼休みの音楽室で和太鼓演奏会を開催しました。
音楽の授業の一環で、演目は「八丈太鼓」。
地域で活動する2名の生徒が模範演技を披露しました。
心臓に響くほど力強い太鼓の音色は聴衆を深く感動させ、
日本の伝統文化の力強さを肌で体感する、
熱氣あふれる素晴らしい時間となりました。



第4位 あけましておめでとうございます

公開日 2026/01/05

<https://machida.schoolweb.ne.jp/1320106/weblog/134085531?tm=20260105095632>

あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願ひします。

学校閉学日が終わり、今日から学校も始動です。

校庭ではソフトテニス部が元気に部活動中です。

一方、中庭側には2日の夜に降った雪がまだ残っています。

朝晩かなり冷え込む時期ですので、

新学期に備え、風邪などひかぬよう体調管理に努めましょう。



第5位 「どんど焼き」にボランティア参加

公開日 2026/01/13

<https://machida.schoolweb.ne.jp/1320106/weblog/134231905?tm=20260113123618>

地域の伝統行事「どんど焼き」に、

本校生徒がボランティアとして参加しました。

12月20日には準備としてしの竹や大竹の切り出し作業に汗を流し、

1月10日の本番も運営に尽力しました。

作業を通じて地域の方々と親睦を深め、

伝統を次世代へつなぐ大切さを肌で感じる貴重な経験となりました。

参加したみなさん、ありがとうございました！

